

あっぷるぱい

牌



2~4人で遊ぶカードゲーム

りんご歴史研究所
公式ホームページ



仲間の作り方(点数)

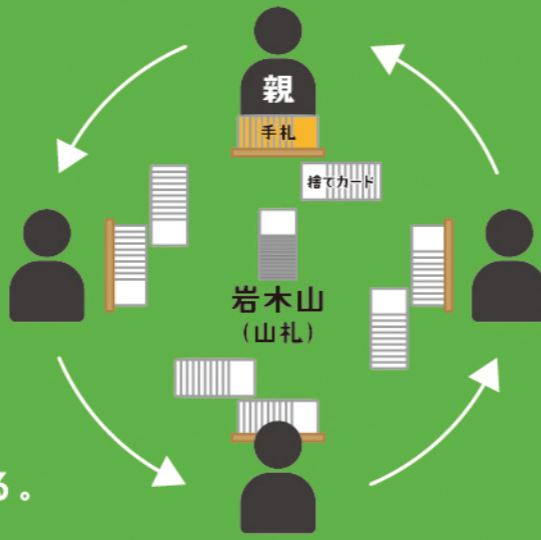
3枚1組の仲間も4組集めるとあがりだよ!

同じりんご(20点) 	同じ道具(30点) 	同じ偉人(40点) 	桜3枚(40点)
赤色連番(10点) 	黄色連番(10点) 	ピンク連番(10点) 	桜スペシャル(50点)
道具1ずつ(20点) 	偉人1人ずつ(30点) 	菊池スペシャル(50点) 	偉人1人ずつスペシャル(40点)

菊池さん4枚のうち1枚だけ桜の菊池さんがあります。桜の菊池さんを使うと**10点プラス**になるよ!
桜の菊池さんは菊池さんとしても使えるし、桜としても使えるよ!

ゲームの進め方

- 1 じゃんけんで親を決め、11枚ずつ配る、残りのカードは中央(岩木山)に置く。
- 2 親から順に反時計回りで岩木山から1枚引いていないカードを1枚捨てる。(捨てたカードは、他の人にも見えやすいように少しずらして並べる)
- 3 一番早く4組集めた人だけが点数をもらえる。
- 4 点数をメモしておいて、合計の点数で順位を決める。
- 5 親が勝ったら10点プラス。



2人でする時は...

- ・赤、黄、ピンクのうち1列抜いた100枚でやると早く決着します。
- ・役の種類を半分に限定してやると揃いやすくなります。

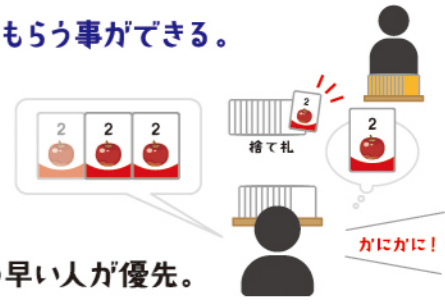
あなたのりんご園

- ・白地のカードを使ってオリジナル役を作っても楽しいかも。

ゲームを進める時にセリフがあるよ!

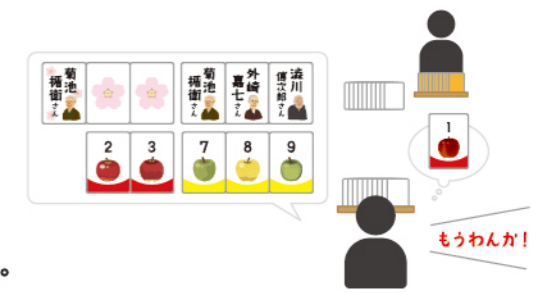
他のプレイヤーが捨てたカードが欲しいと思った時は... **かにかに** ◎津軽弁で「ごめんね」という意味だよ!

- ・同じカードも2枚持っている時、それと同じカードが捨てられたらもう事ができる。この時「かにかに」と言う。
- ・「かにかに」したら、そろった3枚をみんなに見えるように置き、いらないカードを1枚捨てる。
- ・「かにかに」した次の順番の人から再開する。
- ・同じカードに対して2人以上の「かにかに」があった場合、順番の早い人が優先。
- ・「かにかに」したら1回につき、10点マイナス。



もう1枚であがる時は... **もうわんか** ◎津軽弁で「もうちょっと」という意味だよ!

- ・あともう1枚であがりの時言う事でパワーアップする。印(しるし)として捨てたカードを横にする。
- ・「もうわんか」になった人は最後の1枚もどんな待ちでももらってあがる事ができる。同色連番でも、道具1ずつでも、偉人1人ずつでも。
- ・「もうわんか」を言った後でもこっそり待ちを変えても良い。



他のプレイヤーが捨てたカードであがった時は... **めやく** ◎津軽弁で「ごめんね、ありがとう」という意味だよ!

- ・同じカードに対して2人以上の「めやく」があった場合、順番の早い人が優先。
- ・同じカードに対して「めやく」と「かにかに」があった場合、「めやく」が優先。



最後の1枚も「岩木山」から引いたカードであがった時は... **来たねろん** ◎津軽弁で「来たよ!すごいでしょう!」という意味だよ!

- ・自力であがったので30点プラス。



カードの種類

それぞれ4枚ずつあるよ!

青森県生まれの品種 赤いりんごのカード	
黄色系品種 黄色いりんごのカード	
青森県外生まれの品種 ピンクのりんごのカード	
偉人 	道具
	桜

きくち たてえ
菊池 権衛さん

(1846~1918) 享年73歳



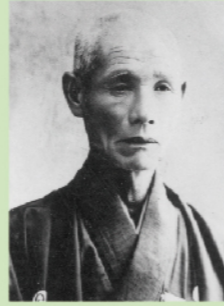
写真提供: 青森りんご協会

元津軽藩士。子供のころから園芸好きでりんご栽培に積極的に邁進していく。青森県庁に日本政府から初めてりんごの苗木3本が届いた明治8年には、その県庁に職員として働いていた。その後、北海道七飯町の果樹園への出張を志願しそこで、アメリカ人農業技師ペーマーと奇跡的な出会いをきっかけに、津軽地方をりんごの一大生産地へとする礎となっていく。

一方、弘前城が手入れされず荒廃していくのを嘆いた元津軽藩士内山覚弥さんが弘前城内に桜を20本植えた事に感激し、明治15年菊池さん自身も桜1000本を植えた。この事がきっかけとなり弘前城は桜の名所となる。菊池権衛さんはりんご栽培と桜の観光名所という二大産業を残してくれたといえる。

とのさき がしち
外崎 嘉七さん

(1859~1924) 享年65歳



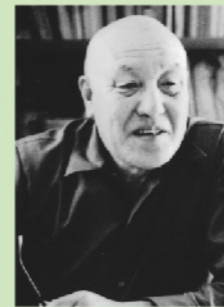
写真提供: 青森りんご協会

外崎さんが培った栽培技術とその指導力は卓越していて、常に教えを乞う人が絶えなかったし、外崎さん自身が県外に赴き指導して歩いた。津軽地方において、りんごの袋かけを行った最初の人であり革新的な技術がとり入れられるとき外崎さんがやるなら自分もやるといった具合に、常に栽培の手本となっていった。「りんごの神様」と言われる所以である。

明治41年9月24日 皇太子(のちの大正天皇)が行啓訪問にいらした際、外崎嘉七さんのりんご畑をご覧になり外崎さん自身が案内した。その場所には記念碑が建てられ(弘前市樹木)いまでも毎年9月24日には「りんご祭」がしめやかに行われている。

しふかわ てんじろう
澁川 傳次郎さん

(1898~1991) 享年93歳

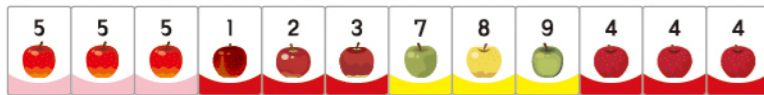


写真提供: 青森りんご協会

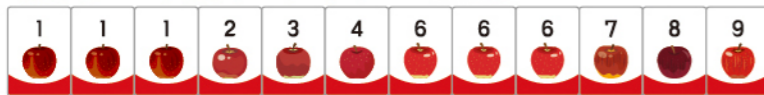
黒石市の豪商の次男に生まれる。青森県立農学校に在籍中の3年間首席で通し、卒業後弘前市郊外のりんご園支配人となる。第二次世界大戦応召、戦後復員し、青森県りんご協会設立に尽力。戦争中豪雪被害に遭い更に手入れがされない為、荒れ果てたりんご畑の再生に貢献した。澁川さんは大きな声で号令し、技術的にも精神的にも当時の人々を導きりんご産業を「復興」させた。人々には「シブデン」の愛称で呼ばれるほど親しみやすい人柄だったと言われている。

役一覧

りんごづくし 100点 全てりんごのカードで4組を集める



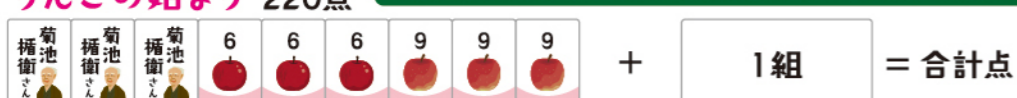
りんごづくしスペシャル 120点 全てりんごのカードで更に1色で4組を集める



りんご栽培 180点 全てりんご以外のカードで4組を集める



りんごの始まり 220点 菊池さん3枚と国光3枚、紅玉3枚を集める。残り1組の点数加算



菊池さんがりんご栽培を始めた時の現在現存する品種が紅玉と国光だから

ひろさきじょうさく5もり
弘前城桜守 120点 菊池さん3枚と桜3枚を集める。残り2組の点数加算



菊池さんが弘前城に桜を1000本植えた人だから

がみさま
りんごの神様 110点 外崎さん3枚とどの道具でも3枚を集める。残り2組の点数加算



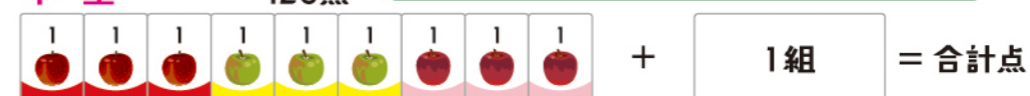
外崎さんの栽培技術が素晴らしいので、「りんごの神様」と呼ばれたから

ふっこう
りんごの復興 100点 澁川さん3枚とどのりんごでも3枚を集める。残り2組の点数加算



澁川さんが戦後、荒れ果てたりんご畑を復興させたから

かせ
早生 120点 3色の「1」もそれぞれ3枚ずつ集める。残り1組の点数加算



「1番」が一番最初に収穫されるから

ばんせい
晩成 120点 3色の「9」もそれぞれ3枚ずつ集める。残り1組の点数加算



「9番」が一番最後に収穫されるから

いじんかんおうかい
偉人観桜会 280点 偉人3人も3枚ずつと桜3枚集める



3人の偉人が弘前公園で花見をしていると想像してみました

つがるへいや
津軽平野 200点 偉人・道具・桜の7種のうち1枚ずつが6枚と、3色の「1」と「9」を1枚ずつ集める



しゅうかくじき
収穫時期 80点 1色の「1」から「9」まで1枚ずつ集める。残り1組の点数加算



いま た ころ
今が食べ頃 100点 3色のカードの同じ番号をそろえる。残り1組の点数加算



わら た
にこにこ笑って食べる 80点 どのカードでも2枚ずつ集める



わら た
にこにこ笑ってりんご食べちゃった 100点 りんご以外のカードで2枚ずつ集める

